

# 北部機械金属業界の景況動向

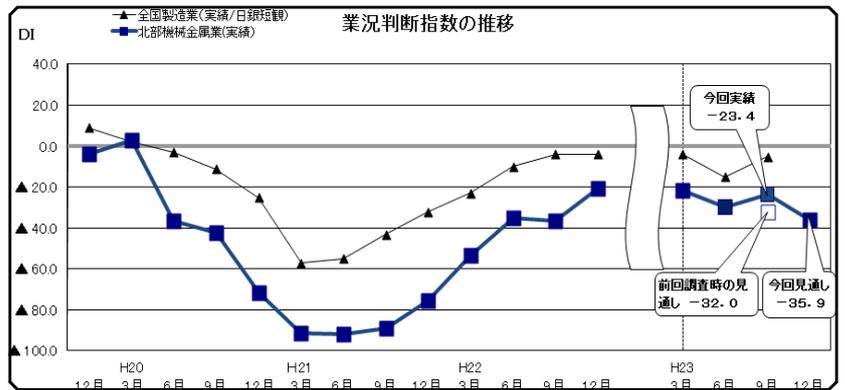
(2011年7~9月実績/2011年10~12月見通し)

- 調査対象：福知山市以北5市2町の機械金属関係企業286社 【調査時点 平成23年9月下旬】
- 回答数：120社（回答率42.0%、内訳は以下のとおり。）
  - ①市町別 = 福知山市:15、舞鶴市:18、綾部市:17、宮津市・与謝郡:15、京丹後市:55
  - ②取扱別 = 一般機械:42、電気機械:10、輸送機械:29、精密機械:26、その他:13
  - (区分) 一般機械…工作機械、産業機械部品等      電気機械…家電部品、電子部品等
  - 輸送機械…自動車部品、船舶等              精密機械…半導体・液晶関連、精密機械部品等
  - ③従業員数別 = 1~9人:50、10~19人:23、21~49人:30、50~99人:10、100人以上:7
- ※アンケート調査の他に一部企業の訪問調査を実施 【調査機関：公益財団法人京都産業21北部支援センター】

## - 調査結果 -

### 1 景況動向判断

●7~9月実績のDI(業況判断指数)は-23.4となり、前回調査(4~6月分。以下「前回」という。)より6.3ポイント改善した(前回-29.7)。地域別では、福知山市域は-33.3(前回-41.1)と7.8ポイント、舞鶴市域は-22.3(前回-30.0)と7.7ポイント、綾部市域は-11.8(前回-68.4)と56.6ポイント改善したが、宮津市・与謝郡域は-40.0(前回-25.0)と15.0ポイント、京丹後市域は-20.1(前回-14.2)と5.9ポイント悪化した。このように、DIはすべての地域でマイナスの状態が続いている。北部地域全体の景況感は、前回の見通しより改善しているが、依然として厳しい状況が続いている。



注：DI = (非常に良い+良い) - (非常に悪い+悪い)

●10~12月見通しのDIは-35.9と、前回より3.9ポイント悪化した(前回-32.0)。すべての地域で「非常に良い」とする企業がなく、「悪い」、「非常に悪い」とする企業が4割を超えている。今後の見通しは、円高の影響や電気料金値上げの懸念等により、今回実績より12.5ポイント悪化を見込むなど、依然として厳しい見通しになっている。

地域	非常に良い	良い	普通	悪い	非常に悪い	DI
全体	20.0	35.0	36.7	7.5	0.8	0.8
福知山市	20.0	26.7	40.0	13.3		13.3
舞鶴市	22.2	33.3	38.9	5.6		5.6
綾部市	29.4	29.4	35.3	5.9		5.9
宮津・与謝		60.0	26.7	13.3		13.3
京丹後市	21.8	32.7	38.2	5.5		5.5

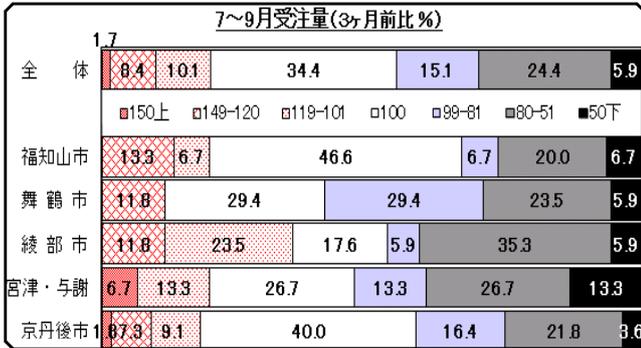
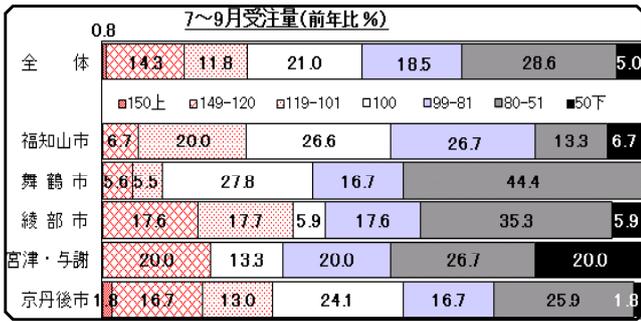
地域	非常に良い	良い	普通	悪い	非常に悪い	DI
全体	12.8	38.5	44.4	4.3		4.3
福知山市	13.4	40.0	33.3	13.3		13.3
舞鶴市	11.1	33.3	50.0	5.6		5.6
綾部市	5.9	35.3	58.8			58.8
宮津・与謝		46.2	53.8			53.8
京丹後市	18.5	38.9	38.9	3.7		3.7

### 2 採算状況

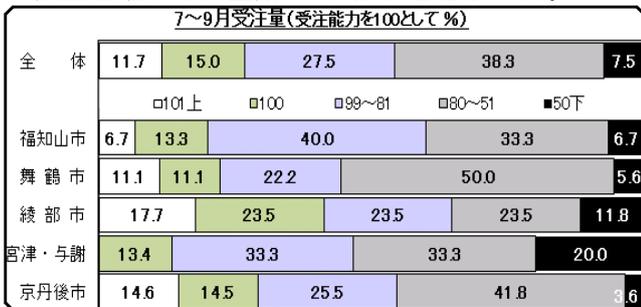
●7~9月の採算状況は、黒字とする企業が16.0%(前回16.7%)、赤字とする企業が27.7%(前回30.1%)と、前回に続いて赤字企業が黒字企業を上回り、厳しい状況となっている。地域別では、黒字とする企業が、福知山市域及び京丹後市域では2割以上であるのに対し、宮津市・与謝郡域では皆無と、地域によって大きなばらつきがある。また、福知山市域では、赤字とする企業が4割と、最も高い。

地域	黒字	トントン	赤字
全体	16.0	56.3	27.7
福知山市	20.0	40.0	40.0
舞鶴市	16.7	55.5	27.8
綾部市	11.8	52.9	35.3
宮津・与謝		66.7	33.3
京丹後市	20.4	59.2	20.4

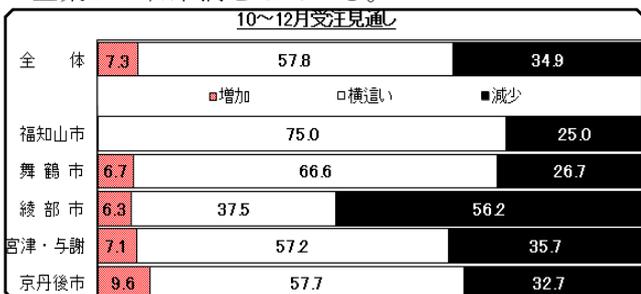
### 3 受注量



●7~9月の受注量は、対前年同期比100%以上を確保した企業は47.9%（前回55.1%）と減少した。地域別では、福知山市域及び京丹後市域では半数以上の企業が対前年同期比100%以上を確保したものの、宮津市・与謝郡域では約3割の企業にとどまった。また、対3ヶ月前比100%以上を確保した企業は54.6%（前回50.0%）とやや増加した。しかしながら、舞鶴市域では、対3ヶ月前比100%以上を確保した企業は約4割にとどまった。

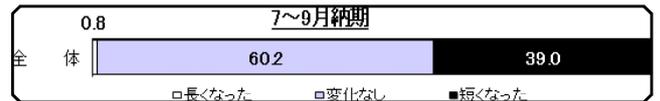


●7~9月受注量（稼働割合）は、100%以上とした企業は26.7%（前回28.7%）とやや減少した。地域別では、綾部市域では4割以上の企業が100%以上としている一方、宮津市・与謝郡域では2割の企業が50%未満としている。



●10~12月受注見通し（左下図）は、増加を見込む企業の割合が7.3%（前回19.0%）と11.7ポイント悪化し、減少を見込む企業の割合も34.9%（前回20.7%）と14.2ポイント悪化した。増加を見込む企業は全ての地域で1割未満であり、減少を見込む企業も全ての地域で2割以上となっており、特に綾部市では半数を超えている。

### 4 受注条件（受注単価／納期）



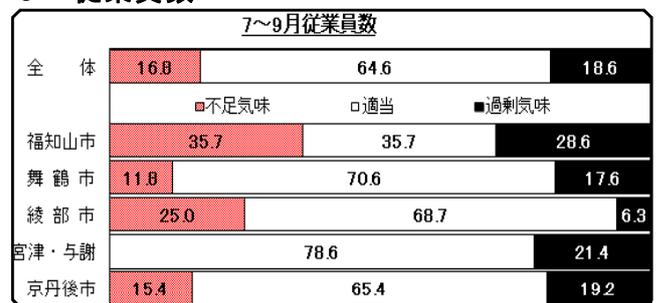
●受注単価が下がったとする企業は26.1%（前回30.1%）、納期が短くなったとする企業は39.0%（前回35.5%）となった。前回調査に引き続き、厳しい状態が続いている。

### 5 資金繰り



●資金繰りは、好転とした企業が4.2%（前回4.8%）、悪化とした企業が21.8%（前回24.8%）と、若干改善傾向にある。地域別では、綾部市域及び宮津市・与謝郡域では好転とした企業は皆無であるが、悪化とした企業の割合は舞鶴市で最も高く、3割を超えている。

### 6 従業員数



●従業員数は、不足気味が16.8%（前回11.3%）と増加し、過剰気味は18.6%（前回19.4%）と改善傾向にあり、仕事が忙しくなっていることが見て取れる。地域別では、福知山市域では3割以上の企業が不足気味とした一方、宮津市・与謝郡域では不足気味とした企業がなかった。